

液晶パネルの生産に必要な「フジタック」を効率的に生産するための技術開発を推進

富士フイルム九州 技術開発部門を新設

平成 25 年 4 月 12 日

富士フイルム株式会社(社長:中嶋 成博)は、フラットパネルディスプレイ材料「フジタック」の主要生産拠点である富士フイルム九州株式会社(熊本県菊池郡、社長:坂本 敏)に、新たに技術開発部門を設置し、「フジタック」の生産技術の開発体制を強化します。フジタックの生産効率アップと更なる品質向上、多品種対応に向けた生産技術開発を行うとともに、既存ラインへの設備投資を行います。

液晶テレビは、大画面化の進展とともに、画面面積が年率 2 桁成長しており、今後も成長が見込まれています。また、タブレット PC やスマートフォン向けの中小型液晶パネルの需要が増えており、液晶パネルの生産に必要な当社「フジタック」の需要も安定的に伸びています。

「フジタック」は、現在、神奈川工場足柄サイト(神奈川県南足柄市)、富士フイルムオプトマテリアルズ(静岡県榛原郡吉田町)、富士フイルム九州の 3 拠点で生産されており、なかでも富士フイルム九州は、生産能力全体の 55% をカバーする主要拠点です。

今回、「フジタック」の生産技術の開発機能を富士フイルム九州にも設置することにより、多様化する顧客ニーズに迅速に対応する体制を構築します。

記

1. 内容

フジタック主要生産拠点である富士フイルム九州に、技術開発部門を新設
生産効率アップと品質向上、多品種対応のため、既存ラインへの設備投資を実施

2. 時期

技術開発部門設置 平成 25 年 4 月
生産効率アップ等に向けた設備稼働 平成 26 年 4 月以降順次

3. 投資金額: 約 20 億円

4. 人員体制: 今回の技術開発部門設置により、従業員を 26 名増員

5. 富士フイルム九州(株) 概要

- (1)所在地: 熊本県菊池郡菊陽町津久礼 2900 番
(2)生産品目: フラットパネルディスプレイ材料 偏光板保護フィルム「フジタック」
(ブレンタック^{※1}、IPS 用フィルム^{※2}、VA 用フィルム^{※3})
(3)従業員数: 約 300 名 (平成 25 年 3 月末時点)
(4)生産能力: 第 1 ライン~第 8 ライン 計 455 百万 m² /年 (富士フイルム全体: 計 820 百万 m² /年)

- ※1 プレーンタック:光学補償などの機能を付加していないタックフィルム。偏光板保護フィルムとして使用されている。
※2 IPS 用フィルム:大型液晶テレビやノートPCのほか、スマートフォンやタブレットPCに主に採用されている IPS モードの偏光板において、斜め方向から画面を見た際の色味変化を抑える機能を持つフィルム
※3 VA 用フィルム:大型液晶テレビや携帯電話に主に採用されている「VA モード」の偏光板において、視野角の拡大やコントラストの向上に寄与するフィルム

本件に関する問い合わせは、下記にお願いいたします。

広報部 03-6271-2000